

## 全国学力テストに関する要請

8月4日、愛教労は、県教委に「全国学力・学習状況調査に関する要請書」を提出しました。昨年度、小学校国語の成績が良くなかったことを受けて、県教委は、「学力・学習状況プラン」と「授業アドバイスシート」を各学校に押しつけてきました。また、今年度も、県教委は、「学力向上推進委員会」を開催しています。これに対して、愛教労は、成績の公表をしないように、また事前のテスト対策を押しつけないように、早めに取り組みを始めました。要請項目の中で、次の2点に重点をおいて要請を行いました。

### 市町村別および学校別の成績を公表しないこと

「県としては、本調査の実施要領に則り、市町村別、学校別の平均正答率を一覧にした公表は行わない。」(県教委「平成26年度全国学力・学習状況調査、愛知県の結果について」)の「一覧にした」を削除するよう要請しました。なぜならば、実施要領では、市町村別・学校別の成績を公表するに際して、「平均正答数や平均正答率などの数

値について一覧での公表やそれらの数値により順位を付した公表などは行わないこと。」として、「一覧」「順位付け」をしなければ公表して良いということの意味するからです。

県教委は、「市町村別、学校別の平均正答率を公表しないという方針は、堅持する。」と表明しています。しかし、「一覧にした」を文言に付け加えていることにより、今後、成績公表の圧力がかけられたときに、「一覧にしない」方法での成績公表が可能となる恐れがあります。

なお、8月26日に、今年度の愛知県の結果が発表されました。今年度も、市町村別・学校別の成績の公表はありませんでした。ただし、昨年度同様、「一覧にした」の文言は残っています。「市町村別および学校別の成績を公表しないこと」とともに、「一覧にした」の削除を求めて取り組みを進めていくことが求められます。

### 問題別の県の平均正答率を公表しないこと

昨年度の国語B問題を具体例として取り上げました。問題内容が不適切である(難しすぎる)にも

かかわらず、県教委は、全国平均と比較して課題を導き出し、その解決のための「授業改善」を打ち出しています。難しすぎる内容を授業で教えても、子どもたちは理解できません。テスト問題は「活用」=難しすぎる問題に偏っているため、課題は必然的に難しいものとなります。結局は基礎知識の習得がなおざりになってしまう上に、事前のテスト対策に結びつく恐れがあります。このような説明をした上で、「問題別の県の平均正答率を公表しないこと」という要請をしました。

なお、今年度の愛知県の結果で、県教委は、「小学校国語については、全国と平均正答率の差が大きいことを重く受け止め、自分の考えを書くノート指導や、漢字を読んだり書いたりする機会を計画的に設定するなどのアイデアを盛り込んだ授業アドバイスシートを作成し、授業改善の手だてを示していく」としています。昨年度以上に、「授業改善」が各学校に押しつけられることも心配されます。授業が、全国学力テストの事前対策につながるものへと転換させられていくこととならないよう、普段の授業の大切にすることと一致点を築き、広く共同していく取り組みが求められます。

## 娘と孫2人、4人で参加した8・30国会抗議行動

当日はあいにくの雨。「それでも出かける」と強い意志の娘に頼もしさを感じながら、孫2人を連れた4人で参加。新橋駅で1時間集会をしてから、いよいよ国会方面へ。

国会前広場は、物凄い人で、どこからどこまで続いているのか全く分からない状態。後から後から参加者が集い、たとえ警察であっても、このエネルギーは止めることはできない。今、若者の熱気はすごい！毎日のように国会周辺で抗議集会をやり続けるその熱意は途切れることはありません。

戦争に巻き込まれるような法案を通してはならない、日本の平和を守りたい、という強い思いの表れです。少し前に「マスコミが国民の大半が反対しているとかいうけど、全然大したことない。60年安保の頃はもっとすごいデモだった。電話もかかってこないしね。」と言った大臣、この全国100万人以上の声をきいても「あそう」とも言うつもりだろうか。国会議員は国民の代表として選ばれ、国会に送り出された国民の代弁者です。国民の声を無視する安倍内閣は皆、議員の資格なし！

「国民の理解がまだ進んでいないようですが…」(安倍)いやいや理解すればするほど法案は危ない内容で賛成などできません。「(あなたの説明をどれだけ聞いても)理解なんて一生ありません。」とインタビューに答えた娘、あっぱれ！



## 「今こそ平和教育を！そして、子ども・学校・教育について考えよう」 ～愛知の教育を考える集い～ 10月24日開催

10月24日(土)に「愛知の教育を考える集い」が開催されます。今年、旧日本軍兵士の方を講師に招いて「軍国時代の日本・シベリア抑留・満州棄民」の実態の話を聞きます。また、午後からは小学校・中学校・特別支援教育・教科書問題など、テーマごとの分科会があります。昼の休憩時には、「楽しい教材教具・全員集合！」と題して子どもたちの興味や意欲を引き出す教材教具グッズがブース形式のワークショップで紹介されます。いろいろ見てまわるだけでも楽しいです。おみやげも用意しています。

入場無料で、どなたでも参加できます。ぜひ、まわりの先生たちとお誘いの上ご参加ください。

### ◆日時:10月24日(土)10時～16時30分

- ◎記念講演……………10時～12時
- ◎教材教具紹介…12時30分～13時20分
- ◎分科会……………13時30分～16時30分

### ◆場所:岩倉市生涯学習センター

岩倉駅から北へ徒歩2分  
駅北側に立体駐車場あり



# 愛知県人事委員会と交渉 教職員問題の勧告を！

9月1日、あらかじめ提出した要求書を基に、2015年人事委員会勧告に向けて交渉しました。

## 愛教労 愛知県人事委員会要求書(抜粋)

1. 教職員の賃金を大幅に引き上げ、職員の生活と労働の実態にふさわしい水準に改善すること
  2. 労働時間短縮の実効ある取り組みについて
  - ①時間内で仕事が終わるように、正規教職員を増やすこと
  - ②当面、長時間・過密労働を助長している部活動を中止すること
  - ③労働時間間隔を最低 11 時間以上確保すること
  - ④勤務時間の割り振り変更を、客観的資料を作成し確実にこなすこと
3. 臨時教職員の処遇改善について
  - ①再任用職員を定数外とすること

- ②定数内講師をやめ、正規教員にするための工程表を作成すること
- ③非常勤教職員等非正規職員の雇用の安定をはかること
4. セクハラ・パワハラ・マタハラ防止に対する指針を策定し、具体的な対策を講ずること

人事委員会からは、以下の回答がありました。

制度は国家公務員に準拠し、賃金等は民間調査をもとにした人事院の引き上げを参考にした。地域手当の全県一律制度は、人事委員会は「引き続き検討」することになっている。勤務時間の縮減は引き続き必要であり、勧告の中で触れる予定である。しかし、教員独自の勧告・報告をするか否かはこれから検討したい。セクハラ、パワハラ等についてはさらなる取り組みを進める。

定年制延長は、国が平成28年に出す方針を見守りたい。

納得できない組合は、さらに主張しました。

人事委員会は救済機関であり、私たちのこの訴えを救済すべきである。愛知県独自の取り組みは、県で勧告して欲しい。とりわけ地球温暖化防止の観点からも公共交通機関での通勤を奨励している県は、駐輪場費用負担はできることである。フルタイムの再任用教員は、1年前に比べ約6割の賃金で同じ仕事をしている。同一労働同一賃金の原則には程遠い。6万人愛知県職員の内、2/3を占める教職員に独自の勧告をすべきである。他県はおこなっている。(例を挙げながら)教職員の現在の労働実態を調査し、かつ勧告すべきである。労基署の役割を担う人事委員会が、長時間労働を放置すべきではない、と主張しました。

# 教育全国署名 愛知県スタート集会

9月5日、栄の教育館で「ゆきとどいた教育を求める全国署名」のスタート集会が開かれました。

「今こそ、少人数学級を！～ゆきとどいた教育をするために～」というテーマでの講演を受け、主催するそれぞれの団体からのリレートーク。そこで指摘されたのは、「子どもたち自身の貧困」であり「子どもたちを取り巻く環境の貧困＝教育費の貧困・

施設の貧困・教員の貧困など」でした。

その後、栄の噴水前に場所を移して、岩澤議長への訴えも響く中、街行く人への署名活動が始まりました。

「子どもたちが安心して学べる学校」目指して、一筆でも多い数の署名を国に、県に届けましょう。



# 教科書採択終了 教員の意見尊重と採択過程の公開を！

愛知の教科書採択は、戦争を肯定する教科書採択はされませんでした。しかし、知多と海部の2地区を除き育鵬社版に近い、東京書籍が採択されていることは問題です。小中学校の教科書は、教育委員会で決定しています。教育委員会は、5～7名の教育委員で構成されています。教育に関わらないことが多い委員の方々が、小中学校のすべての教科書の内容をじっくり検証することができのでしょうか。

採択にあたって現場の教員代表などからなる「専門調査員」が教科書採択の参考資料を作成し

ます。各教科3～4名の教員が検定に通った全ての教科書を分析し、資料を作成します。そして、地区採択協議会等で、20名前後の「教科用図書選定審議会委員」が採択案を検討します。この採択案に沿って市町村教育委員会が決定します。

他県ではかつて、「この教科書が使いたい」という現場の教員による投票が行われていました。しかし、教員の意見を反映する制度は廃止されてしまいました。つまり、現場の教員の意見が教科書採択から排除されてしまったのです。

さらに、教育委員会による採択の会議は、名古屋

屋市は公開の教育委員会の場で採択されましたが、今回、愛知県の場合は、前回の4年前の採択時には、公開されていた市町村もあつたにもかかわらず、すべて非公開となっています。採択結果が、9月1日に公開されるのを待つしかないのです。つまり、学校の教員が、毎日子どもたちが使っている教科書の採択にほとんど関わることができないのが現状です。当面、愛知県でも名古屋市のように公開の地区採択協議会と市町村教育委員会で採択することを求めていくことが必要になっています。

# 愛教労は、困ったときの駆け込み寺です！

職場でのパワハラ、セクハラ、また、意に沿わない異動、過酷な長時間勤務や部活問題などでお悩みの方はいらっしゃいませんか？

職場で発生する様々な問題で、心をくじかれてしまった先生たちを、私たち愛教労は何人も救済してきました。同じ教員として、組合員である、なしに関わらず、お話を親身になって伺い、解決する

までご支援します。相談に際して、費用は一切かかりません。勤務校の近くにいる組合員の先生が、すぐに駆けつけます。状況に応じて、お勤めの学校の管理職との話し合いにも同行し、問題が解決するまで寄り添います。ご相談頂いた内容については、一切、外部に漏れることはありませんので、安心してご相談ください。



愛知県教職員労働組合協議会（愛教労）  
<Tel> 052-242-4474  
<Fax> 052-242-2938  
<e-mail> aichi@aikyourou.jp  
事務所での受付（月～金、PM 2～5時半）

## 9～10月のスケジュール

9月15日	小牧市教委交渉	9月24日	共済担当者会	10月9日	4役会、豊明市教育委員会交渉
9月16日	教科書実行委員会	9月25日	幹事会	10月16日	幹事会
9月17日	僻地手当見直し交渉	9月26日	愛知の会 講習会	10月24日	教育のつどい
	民教連事務局会議	10月2日	拡大幹事会	10月25日	教科書市民の会